

平成 17 年 10 月 17 日

保護者殿

八王子市立恩方中学校  
校長 五十嵐 孝博

「子どもの誘拐を装った振り込め恐喝」発生に伴う被害防止について

警視庁生活安全総務課長からの通知によると、社会問題になっている振り込め詐欺（恐喝）事件は、依然として後を絶たず、痴漢の示談金をはじめ様々な口実により現金を振り込ませています。また、9 月に入ってからは、「子どもの誘拐を装った振り込め恐喝」事件が連続発生しており、この手口は、子どもが学校にいる昼前後の時間帯に電話がかかり、子どもの泣きじゃくる声や「助けて」の声が聞こえた後、大人の声で「子どもを預かっている。すぐに万円を振り込め。」といった内容のものです。

被害に遭わないために、下記のような普段の心構えをしておかれますよう、お願いいたします。

記

1. あわてない

このような手口の犯罪が行われていることを念頭に置き、嘘かもしれないと疑い、あわてず、落ち着いて行動する。

2. 事実を確認する

「預金残高を確認する」などと言って、一旦電話を切り、必ず事実を確認する。特に、「子どもを誘拐した」という事案では、実際に事件に巻き込まれている場合も考えられるので、学校に問い合わせる等、生徒の安全を確認し、生徒の安全が確認できない場合は、警察に通報する。

また、生徒の外出時には、行き先を確実に把握する。

3. すぐにお金を振り込まない

「すぐにお金を振り込め」と言われたら、振り込め詐欺ではないかと疑い、すぐにお金を振り込まない。

4. 不安に思った場合は、警察に相談する

以上